

# 輸出事業計画

※申請者名：岡山県果実生産出荷安定協議会

品目：ブドウ、桃

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

岡山県は温暖な気候風土に恵まれ、先人から受け継いだ果樹栽培への情熱と努力により、歴史的に「くだもの王国おかやま」として認知されてきた。特に、国内でも高く評価されるブドウ、桃については、平成16年から本格的に海外輸出に取り組み、現地での交渉や試食宣伝等の販売促進活動を実施した結果、台湾、香港を中心に販路が開拓され、輸出金額も約11億円（R6年）に拡大している。

一方で国内外の市場の需要に対して供給量が不足していることから、長期安定出荷を期待する市場ニーズに対応できる供給力の強化に向けて、全農岡山県本部、各 J A 及び県等関係機関が連携して、担い手の確保や園地整備などに取り組んでいる。

### 【課題】

#### ①生産

- ・高品質で安定した生産・出荷を求められているが、需要に応じた出荷量が確保できていない。
- ・台湾やタイでは、検疫条件に対応した生産園地及び選果場の登録や、厳しい農薬使用制限があり、輸出拡大の障壁となっている。

#### ②流通

- ・輸送時の振動により、ブドウでは脱粒が発生し、桃は果皮に傷みが発生する。
- ・高温多湿な東南アジア等への輸出では、物流の高品質化・効率化による輸送対策が求められる。
- ・これまでは市場経由での輸出が中心で、産地側での輸出先のコントロールができていない。

#### ③販売

- ・他国産との競争激化を避けるため、旬の時期を外した年末などに向けた輸出期間の延長や、高単価で販売できる新たな販路を開拓する必要がある。
- ・海外現地でシャインマスカット「晴王」ブランドの模倣品が出回っており、知的財産の保護対策が必要。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

【ターゲット国】 台湾、香港、シンガポール、タイ、UAE 等

#### ①生産

- ・規模拡大と安定供給に向け、スマート農業技術等の導入、ハウス・ブドウ棚等の新設、気候変動対策に必要な機械・施設の導入、新規就農者の確保・育成を実施する。
- ・生産者に対する輸出に関する説明会や、他県産地視察により輸出拡大への機運醸成を図る。
- ・台湾やタイ向けに、検疫条件に対応した生産園地及び選果場の整備や、残留農薬分析を行い、相手国の条件に対応した防除暦の作成と栽培方法を検討する。

#### ②流通

- ・長期安定供給のための鮮度保持試験を行う。
- ・緩衝材や輸出専用資材を用いた輸出試験を行う。
- ・市場関係者との連携強化を図るとともに、産地と一体となって輸出を進めるため全農のグループ会社である全農インターナショナルとの連携を強化する。

#### ③販売

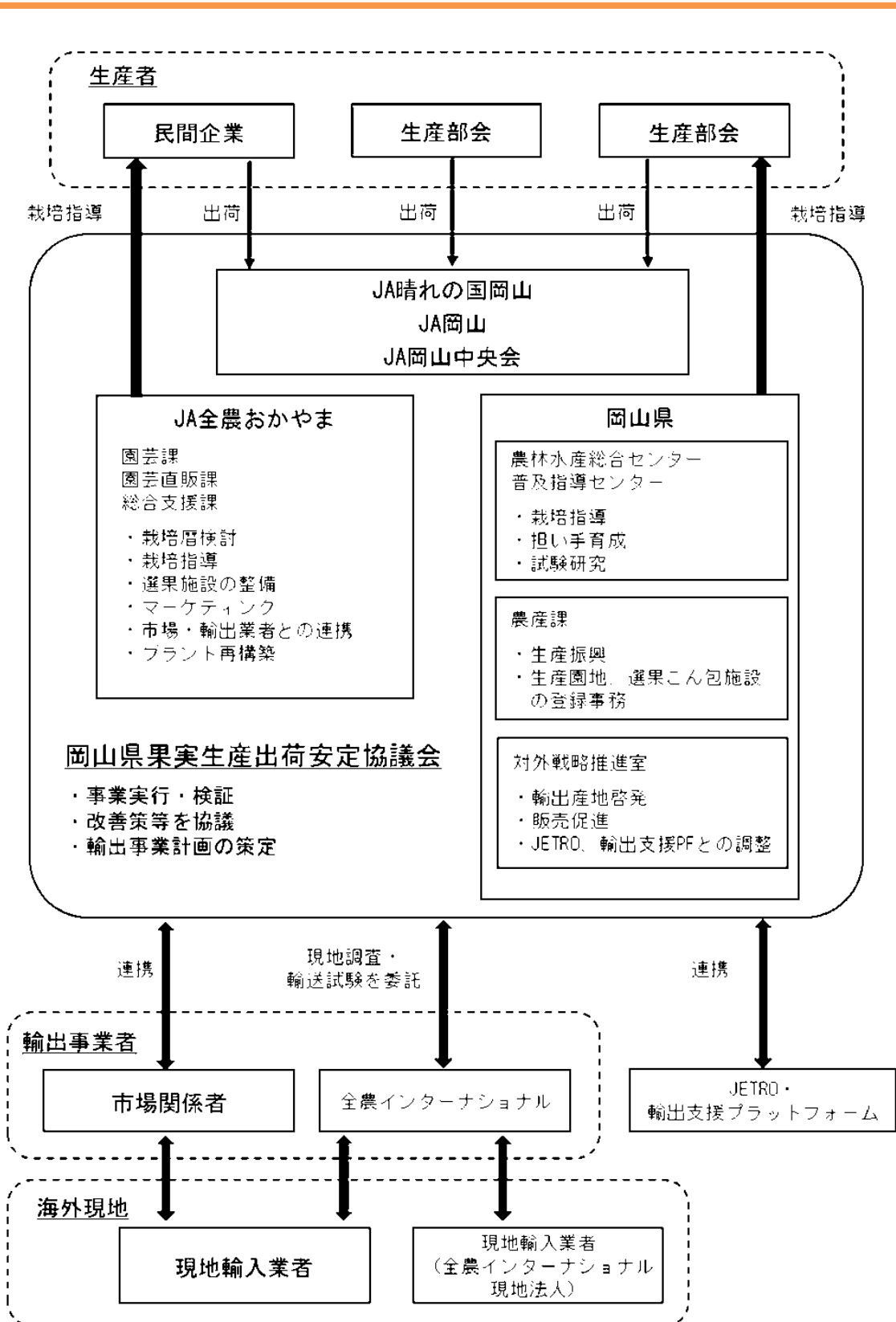
- ・現地輸入業者や輸出支援プラットフォームと連携し、市場ニーズを把握し、現地でのプロモーション活動や海外バイヤーの招聘を行い、販路拡大を図る。
- ・「晴王」のGIや商標登録等により知的財産の保護を図る。

# 輸出事業計画

※申請者名：岡山県果実生産出荷安定協議会

品目：ブドウ、桃

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 輸出事業計画

※申請者名：岡山県果実生産出荷安定協議会

品目：ブドウ、桃

## 4. 輸出目標額

(輸出品目：桃)

		現状 (令和6年度)	目標年 (令和9年度)	備考
岡山県	輸出額(百万円)	41	49	
	輸出量(t)	24	28	
	輸出先国	台湾、香港、 シンガポール、タイ 等	台湾、香港、 シンガポール、タイ、UAE 等	

(輸出品目：ブドウ)

		現状 (令和6年度)	目標年 (令和9年度)	備考
岡山県	輸出額(百万円)	1,089	1,293	
	輸出量(t)	465	551	
	輸出先国	台湾、香港、 シンガポール、タイ 等	台湾、香港、 シンガポール、タイ、UAE 等	